

佐事研だより



佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 小川洋起

会員各位

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。いよいよ師走に突入し、寒さが厳しくなっております。体調をしっかりととのえ、この年の瀬を乗り切っていきたいものです。

今回の第58号の内容です。

- ・ 第25回佐事研大会アンケート集計結果
- ・ 佐賀市の共同実施について紹介
- ・ 小城市的共同実施について紹介
- ・ 時季の挨拶用語・用例集
- ・ おじやまします（唐津市立加唐小中学校）
- ・ 紅葉について

第25回佐事研大会アンケート集計結果

先の第25回佐事研大会お疲れ様でした。

今回もアンケートのご協力ありがとうございました。

今大会は県外から参加された方々が多く、アンケートも貴重なコメントを頂いております。アンケートを集計したグラフと一言コメントを掲載しております。

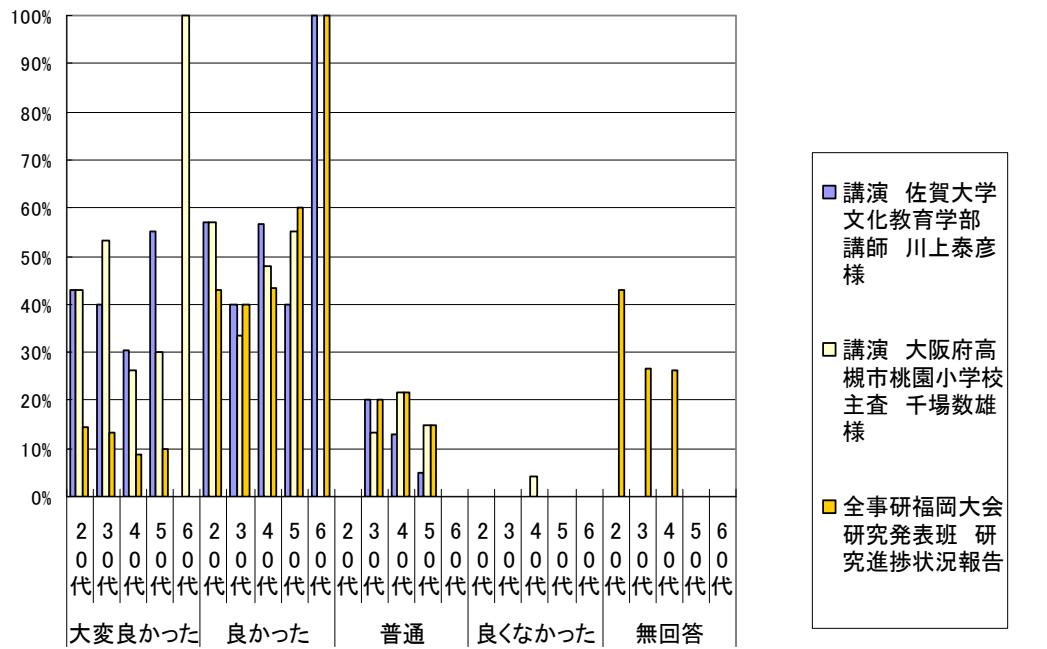
アンケート回収数 67 (内県外事務職員数回答数 11)

年代別内訳

20代	県内事務職員 6	県外事務職員 1
30代	県内事務職員 11	県外事務職員 4
40代	県内事務職員 20	県外事務職員 3
50代	県内事務職員 17	県外事務職員 3
60代	県内事務職員 1	

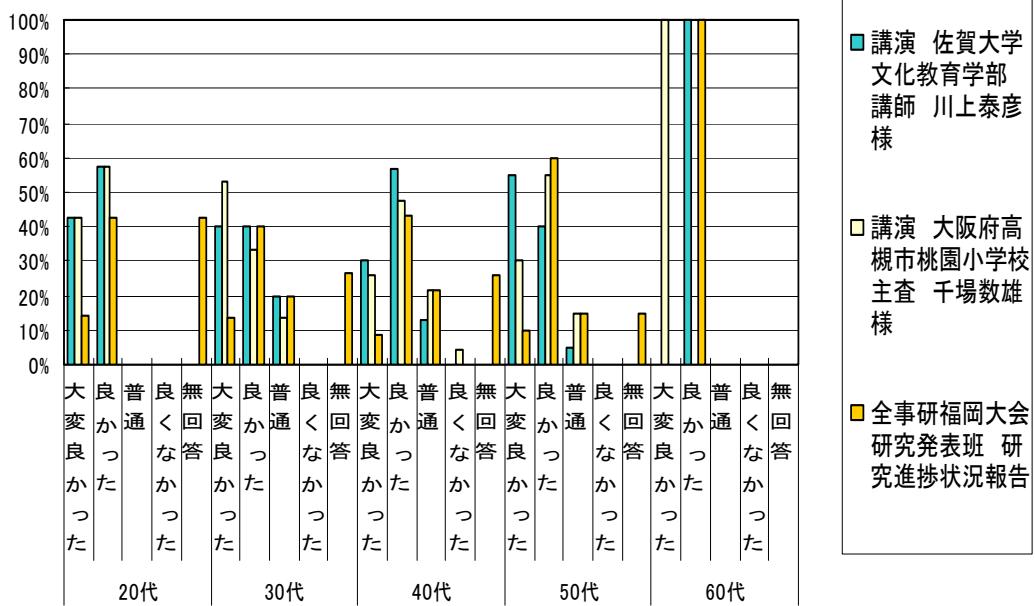
年代別不明 1

第25回大会アンケート結果(回答別)



- 講演 佐賀大学文化教育学部 講師 川上泰彦様
- 講演 大阪府高槻市桃園小学校 主査 千場数雄様
- 全事研福岡大会 研究発表班 研究進捗状況報告

第25回大会アンケート結果(年代別)



- 講演 佐賀大学文化教育学部 講師 川上泰彦様
- 講演 大阪府高槻市桃園小学校 主査 千場数雄様
- 全事研福岡大会 研究発表班 研究進捗状況報告

『アンケート一言コメント欄の集計です』

講演 佐賀大学文化教育学部 講師 川上泰彦 様

(20代)

- 1) 学校組織はとても独特だと思っているので、こういった中で組織を運営していく事務職員の役割はとてもないものだということが分かりました。どんな組織であっても、「変わりやすい、変わりにくい」という点を常に意識していきたいと思います。
- 2) 勤務時間のグラフ等は初めて見たので面白かったです。
- 3) 興味が持てる話でしたが、教師の内容が多いように感じた。
- 4) 学校事務職員と教職員とのつながり方、共同実施の意味などを自分なりに考えさせられた。それに沢山の問題があるが少しづつでもプラスへ学校組織がすすむように変えていく、または工夫していく必要がある。

(30代)

- 1) 教員の多忙さを示すデータとして、職種別、学校別にグラフ形式で説明があったのは良かったと思いますが、では、こういった教員の多忙さをどのように減らしていくのか、学校事務として、今以上にどのような取組をするべきか伺いたかったです。いつも通用する最善策はない！！というのは、わかりきった事なので・・・。
- 2) 資料もわかりやすく、学校教職員の実態が視覚的に理解でき参考になった。「事務職員の役割」としての内容はわかりにくかったので、今後研究が進んでのご意見も聞きたく思った。
- 3) とてもわかりやすい話でよかったです。毎日の生活で・・・「最適」を見つけながら工夫をしていきたいです。
- 4) 詳細にデータを分析されており説明も分かり易かったです。
- 5) 最後の人のつながりの図が興味深かったです。
- 6) 勤務実態調査はぜひ校長や教諭に見せたいと思った。
- 7) 「教員は忙しくなった」とよく耳にしていたし、実感もあった。しかし、具体的に説明するとなると資料がなかった。今回、数値化・グラフ化した資料をみせていただき教員が忙しくなったことが明確化された。その中で、学校事務職員がどうかかわるのか、課題も見えてきたと思う。

(40代)

- 1) 大学の先生にありがちな難解な専門用語の乱発ではなくて勤務時間等のデータを示しながらのわかりやすい説明でよかったです。
- 2) 教育行政の中で学校事務分野の研究者は極めて限られているため教育関連専門書・研究書、あるいは教員研修段階において、学校事務理解が進まない要因となっている。例えば、本年度教育センターでおこなわれた新任教務研修テキストなどをみても、学

平成20年12月15日 月曜日 第58号

校組織運営上の事務部門の役割等は全く無視されているという現状である。今後この方面での研究者が1人でも活躍される事を期待している。

- 3) 図書館司書の講習で講義を受けたことがあった先生だったので奇遇に思いました。
- 4) 知らないことも多く、勉強になりました。少し時間が足りなかつたのでは？！
- 5) 新鮮な感じがして興味を持って聞けた。話もうまかった。
- 6) 分析を基にした講演で、学校組織マネジメントと事務職員の役割について、又、共同実施組織のあり方について理解できた。
- 7) 勤務実態調査の結果と分析をわかりやすく説明してもらって、今後の教育支援の指針になり良かったです。
- 8) 学校事務職員が、学校という組織内で、活動していくことの難しさが、理解できたような気がする。わかりやすかったです。
- 9) 理論的なこと良くわかりました。あとは具体的なアクションをどう起こすか？！
- 10) 新しい感覚、視点で今後もチャンスがあれば話を聞きたい。
- 11) 教職員関係のデータに興味深いものがいろいろありました。
- 12) 興味深い話で、とてもおもしろかったです。
- 13) 事務職員制度への認識・情報が少なく、学校マネジメントとの関わり方の指針を期待していたが、少々不満の残る内容だった。もっと経験豊富な方の講演を希望する。

(50代)

- 1) 視点を変えて考えることができた。
- 2) 支援室を運営していく上での参考になった。
- 3) 小生の職歴と同じ年齢の方とは思えないほど理解しやすい話し方の講演でした。
- 4) ちがった視点で学校の多忙化を見れた。
- 5) 良く学校現場の事を解っておられる感じた。
- 6) 教員勤務実態調査の内容に興味をもってきました。
- 7) 研究を専門にされている先生の切り口が新鮮でした。
- 8) 新しい視点を教えてもらった気がする。
- 9) 教員の勤務実態調査から教員の仕事の特性を具体的に説明していただき、事務職員が学校組織マネジメントする上で、鍵は何かハードルは何か、そして難しさ等くわしく説明していただき、たくさんのヒントを得ることができました。ありがとうございました。

講演 大阪府高槻市桃園小学校 主査 千場数雄 様

(20代)

- 1) 共同実施を行う最前線にたっている方より、共同実施の在り方、重要性を学んだ。佐賀県なりに、再度共同実施の進んでいく道を探していくべきであると思った。
- 2) 話の内容はよかったです、発表とレジュメがかみ合っていないという印象。
- 3) 事務取扱マニュアルがあるのは良いですね。事務支援室（？）のお話、参考になりました。
- 4) 今年度から始まった共同実施ですが、先進的な取り組みをしている高槻市の実情をみると、本当に始まつばかりなのだなと改めて感じました。各々の府県でできる範囲が違うかもしれないが、3つの目的を実現できるようにしていきたいと思います。

(30代)

- 1) くわしい説明していただき大変勉強になりました。聞けば聞くほどまだまだお聞きしたいことがあるような気がしました。
- 2) 共同実施の実状と本音が少し聞けたように思いました。
- 3) 大阪の事例を知ることは出来ないので大変興味深かったです。時間の関係上、細かい部分まで説明が聞けなかったのが残念。
- 4) とてもわかりやすい話でした。
- 5) 高槻市の組織や共同実施の取組の経緯がとてもわかりやすかったです。リーダー、メンバー、市教委や教職員全体が同じ方向性をもって取り組んでいかないといけない、とあらためて感じた。
- 6) 高槻市における学校事務の経過から発表や取り組み、成果、課題とくわしくお話ししていただき、大変参考になりました。とりわけ教育事務所がなくなった後、どのように共同実施が進んでいくのか・・・と不安も大きかったのですが高槻市のお話を聞いて今後の見通しや課題が少しみえた気がします。
- 7) 高槻市の共同実施の現状が詳細に説明され、今後佐賀県モデルの構築に役立つ講演だったと思う。

(40代)

- 1) 共同実施についての課題と展望がはっきり示され内容も同じ事務職員の説明としてわかりやすく示されよかったです。
- 2) 高槻市にもお伺いしたがありました。大阪は佐賀より都会です。給与、手当等は教職員で佐賀と比較してあまり差異を感じなかったです。
- 3) 共同実施の今後の方向性についていい指針ができた。
- 4) 詳細な資料や説明でわかりやすかったです。
- 5) 共同実施については、学校事務の専門職として学校経営に携わることが、最終的には、結果（「こどもたちを育てるため」「教育支援」）につながると再確認した次第です。

平成20年12月15日 月曜日 第58号

- 6) 高槻市での共同実施の実践を聞いて、教育委員会との連携が今後の共同実施には不可欠だと思った。これから共同実施の参考にした。
- 7) 共同実施で実績を求められるならば、場所（支援室の部屋）、予算、人（加配）等が、必要だと思った。
- 8) 高槻市という採用形態（？）、規模も違うところの話ではありましたが、取り組む姿勢は大変参考になりました。出来ることを一つでも二つでも見つけてやっていこうと思いました。
- 9) 話ばかりであり、はりがなく、たいくつだった。ポイントが不明。
- 10) 歩みがわかりやすくまとめられていて良かったです。
- 11) 真新しいものは無かったが、学校財務取扱要綱は参考になった。

(50代)

- 1) 教育委員会との連携や事務職員の意識改革に早くから取り組み一つ一つ法整備という形で制度面を現実にされてきたことに、私の県の弱い部分があらためて見えてきましたし、その部分のマネジメントに今後頑張らねばと考えさせられました。
- 2) 研究大会に参加したことを思いだしました。事務職員のみだけではなく学校教職員全体での共同実施発表会だと記憶しています。
- 3) 先進地のこれまでを含めた現状が聞けて良かったです。
- 4) 千場様の「同級生」の事務職員として、その先進的な取り組みに頭の下がる思いです。
橋本府政の内幕をもっと聴きたかったですが・・・？
- 5) 具体的な取組参考になりました。

全事研福岡大会研究発表班 研究進捗状況報告

(20代)

- 1) 市町教育長、校長のアンケート結果に、事務職員の「学校運営への積極的な参加」について、低い評価があるが、現実には、教員からも積極的参加を求められていないこともあります。こういった部分にも目を向けてもらいたいと思っています。
- 2) 資料作成大変お疲れさまです。来年の福岡大会楽しみにしてます。
- 3) よく分析されていると思いました。

(30代)

- 1) 研究おつかれ様です。十年前森崎さんが向島小中におられたころのことを講演されたことを思い出しながらきかせていただきました。
- 2) ご苦労様です。以前の報告の時にも思ったのですが、アンケートの回答率がよくないですよね？特に事務職員自身の分。これはサンプル数としてどうなんでしょう？皆さん、こんなに答えないものなのかな？と思います。
- 3) 森崎先生のあっさりとした説明が佐賀県全体の共同実施の状態をそのままに伝わっ

てきて良かったです。

- 4) 教職員アンケートの「今後、学校事務職員に期待したい業務」は校納金業務という結果は信じがたい。私が直接、間接に教員にたずねた結果と違いすぎる。このアンケートデータの信憑性ははなはだ疑問。ぜひアンケート配布先の公開を！
- 5) 準備大変お疲れ様です。佐賀県の分科会が成功するように祈っています。
- 6) ご苦労様でした。
- 7) 8/5~7の本番に向けてがんばっておられると思います。お疲れ様です。
- 8) お疲れ様！
- 9) 残り10ヶ月となり、つめの段階になり、さらなるご苦労があると思うが、頑張ってほしい。

(50代)

- 1) 細かく説明してあり、わかりやすい。
- 2) 全事研福岡大会に参加したい意思はあるのですが先立つもの（旅費予算）が確保できるかどうかです・・・？！
- 3) 文章の半分位が図や表になると思っていましたが、中々大変でしょうががんばって下さい。
- 4) 研究大会の原稿を作成される班員の皆様御苦労様です。
- 5) 福岡班の皆さんお疲れ様です。本番まで頑張ってください。
- 6) 着実に研究を進められていることがわかりました。頑張って下さい。おつかれ様です。
- 7) 班員のみなさま、ほんとうにありがとうございます。

その他（自由記述欄）

(20代)

- 1) 共同実施が始まったことで、事務員に対する期待や注文が高まるのは当然のことと思うが、つもるところ教員と同じように事務員の多忙化が進むのだろうな、と感じた。
- 2) 教師の負担をなくすために事務職員が仕事を受け持つと何年か後には、それが当たり前になり、逆に事務職員の仕事が増えていくのでは・・・？教師から見て事務職員は「ヒマ」と見られがち。けれど中身はすごく濃いもので、事務職員が教師の忙しさを理解しているように教師側も事務職員の仕事内容をもっと理解してほしいなと思うこともある。
- 3) お疲れ様でした。会場が暑かったです。（最後はずしくなりましたがちょっと息苦しくなりました。）

(30代)

- 1) お世話になりました。
- 2) お疲れさまです。

平成20年12月15日 月曜日 第58号

3) 会場内が暑かった。

(40代)

- 1) 講演が予定時間をオーバーするのはキツいです。(特に午前の部) 講演をお願いする時に20分の余裕をみて講演時間を設定していただきたいです。
- 2) お弁当よかったです！！
- 3) 大人数でおじやまして、お世話になりました。いつか、現場での具体的な取組みの交流をお願いしたいと思いました。
- 4) 今回の研究大会は、今年から始まった共同実施に思い悩むこの時期にまとをえた講演だったと思う。研修部のみなさんおつかれさまでした。
- 5) 来賓のあいさつ中にぞろぞろと入って来るのはちょっとどうかと思う。話が終わるまで入場制限すべきでは。
- 6) ステージに向って左最前列は常任理事の方の席としていかがでしょうか。講演途中に中座される際にも講演者の視線を横切る事がないと思います。
- 7) 来年度の福岡大会は自分なりの意見をもつ、ひろげるために是非参加したいと思います。
- 8) 共同実施の推進をめざすのなら支援室長の待遇改善(つまり管理職になる)ことが必要ではないでしょうか?大学をでて、また県の上級職(大卒程度)の試験に合格し、それなりの能力、適格性をもっている人がいてもだれも管理職にならない(なりたくてもなれない)今の現状では共同実施を推進しなさい、仕事をふやしなさいといわれても正直いっていやです。若い事務職員にいろいろ言えない事務長(支援室長)がいるのも管理職としての権限がないのだから当然でしょう。

(50代)

- 1) 参加させていただきありがとうございました。
- 2) 春の大会が終了時間がゴゴ5時だった。本日は早く終了して良かった。
- 3) 冊子の字が小さくてみにくいと思っている方もいるので、少し字を大きくする方面で検討してほしい。
- 4) 今大会は特に総べて内容が良かったです。
- 5) 福岡研究班のアンケート回収率が学校事務職員が低いのが気になりました。
- 6) 一日中椅子にすわるのは大変だ！
- 7) 昼食のお弁当が、経験したことがないくらい美味でした。
- 8) 毎回ためになる研究会ありがとうございます。

佐賀市の共同実施 ~~ 諸富学校運営支援室の取り組み ~~

佐賀市の共同実施では、全体を大きく3地区の共同実施組織として編成し、各地区に共同実施主任を配置、その中に合計8つの学校運営支援室、および支援室協議会を設けています。

西部地区 共同実施主任(昭栄中)		東部地区 共同実施主任(城東中)		北部地区 共同実施主任(大和中)			
成章支援室 ・小学校5 ・中学校3	思斎支援室 ・小学校6 ・中学校3	巨勢支援室 ・小学校5 ・中学校2 ・一貫校1	諸富支援室 ・小学校6 ・中学校2	鍋島支援室 ・小学校2 ・中学校1	城北支援室 ・小学校2 ・中学校1	大和支援室 ・小学校5 ・中学校3	富士支援室 ・小学校3 ・中学校1 ・一貫校1

各支援室の取り組みについては、先日の第25回佐事研大会冊子48~49頁を参考いただくこととし、ここでは諸富学校運営支援室について紹介します。

諸富支援室は佐賀市東部地区共同実施組織の中にある、今年4月に小中一貫校となった芙蓉校（旧佐賀市）、旧諸富町の3校（平成17年10月合併）、旧川副町の5校（平成19年10月合併）で構成され、全県実施前から共同実施に取組む佐賀市の中で、合併による新規参入校が非常に多い支援室です。そのため、旧町の学校では佐賀市の「小中学校の管理規則」に基づく「学校管理規程」等の整備が必要となり、素案作りを共同実施の場で行いました。共同実施の具体的取り組みは、年度当初に運営支援室協議会に図り決定をしています。例月電算書類の相互確認、諸手当認定事務では担当者制を設け、原則、学校→担当者→室長の決裁ルートを試行しています。備品購入では各校の購入希望を集約し、業者選定、依頼書の作成発送、見積結果の集約などを各担当校が一括で行いました。また、スクールアドバイザーへの謝金支出等も担当校で行い、事務の効率化を図っています。定期の会議としては第二木曜日に各学校での支援を行い、月末には拠点校で電算書類のチェックや研修を行っています。また県や市の監査対象校に対し、事前準備の支援を行いました。

共同実施の情報を周知する意味で、教職員へは支援室だよりを発行、配布しています。またブログの開設により、校外への情報発信を行っています。

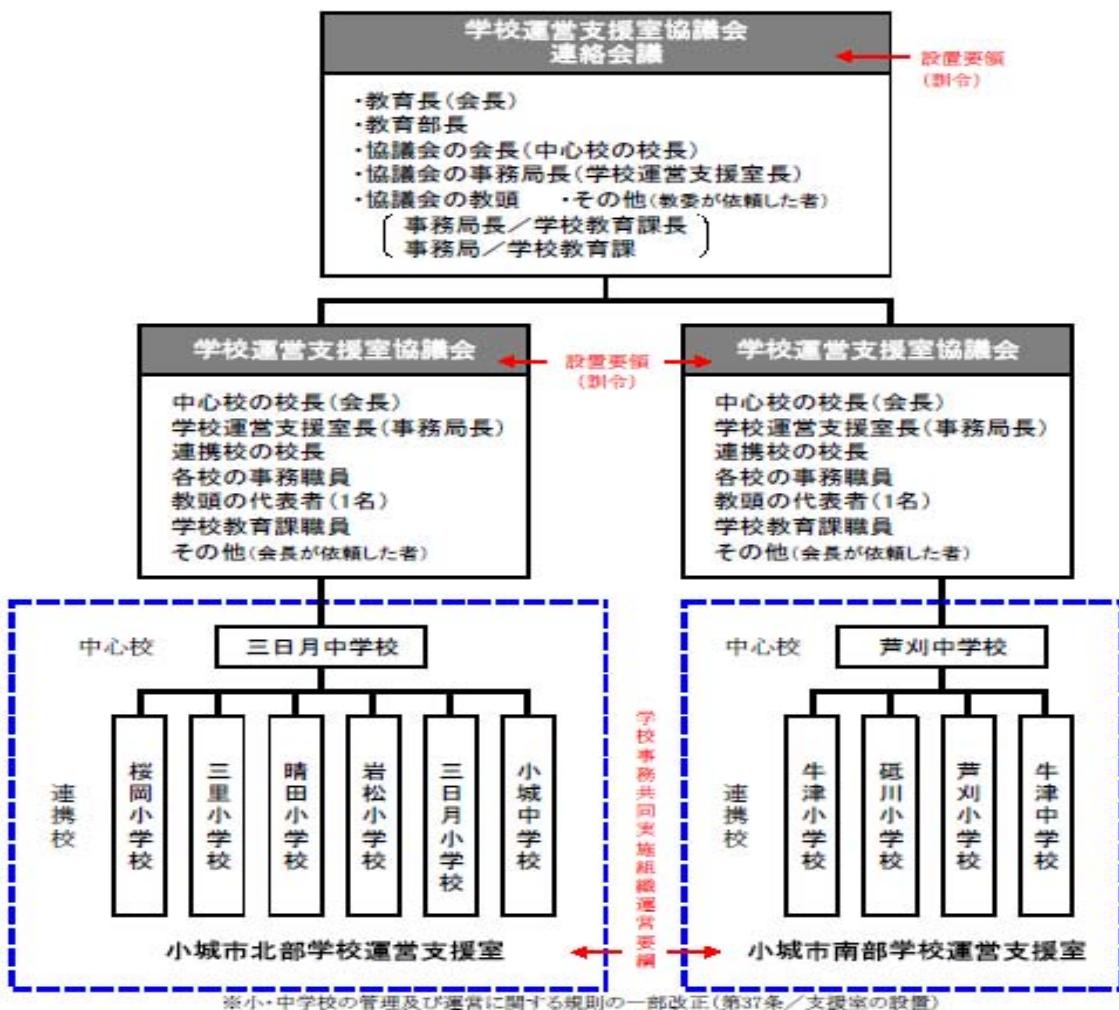
佐賀市への新規参入校が多く、他の支援室ほど過去の蓄積のない諸富支援室ですが、進捗や成果はともかく、合併直後で財務や手続きなど佐賀市のやり方に不慣れな学校にとって、共同実施は問題解決や情報交換の場として大変有効に機能しています。

小城市の共同実施の紹介

【運営支援室の組織】

小城市教育委員会では共同実施の全県下一斉スタートに合わせて、いち早く学校管理規則の改正や諸規定の整備を進め、下記のような組織で共同実施の実践的活動に取り組んでいます。

小城市立小・中学校運営支援室組織図



業務について

- (1)「市町村立小・中学校事務職員の標準的職務について」(平成12年4月1日教委教第001号)に示されている職務のなかで、共同で行うことにより適正化・効率化が図られる業務
- (2)市教育委員会から委任を受けた業務
- (3)事務職員の研修に関する業務
- (4)その他、教育委員会が必要と認める業務

例示

- ・県費関係共同処理 人事・服務・給与・旅費・調査統計・公簿処理
- ・市費関係共同処理 予算編成・執行・物品管理・施設設備・就学援助・公簿処理
- ・学校運営支援

平成20年12月15日 月曜日 第58号

【運営支援室の今年度の目標・取り組み】

各運営支援室では5月半ばに学校運営支援室協議会が開催され、次のような目標と取り組み内容が決定されました。

○小城市北部学校運営支援室

- ①学校運営に積極的に参画し、学校経営に必要な情報等を的確に提言していく。
- ②保護者・地域が望んでいる安全で安心して生活できるためのリスクマネージメントについて検討する。
- ③きめ細やかな学習指導や教育情報化への支援を行い、教員が児童生徒とふれあえる時間を確保する。
- ④事務の共同実施校(学校運営支援室)事務職員の資質向上のためのO・J・Tの強化。
- ⑤学校運営支援室の情報提供として支援室便りの発行やホームページの開設。

今年度も半分が過ぎ北部学校運営支援室では、各学校長に教育情報を適宜配信し、校長の学校経営に利用してもらっている。リスクマネージメント及び事務職員の研修(O・J・T)として、大阪教育大学附属池田小学校の事件その後の対策という資料で、小城市内学校の危機管理について検討した。2月の支援室協議会に向けてまとめの資料作成中である。(室長 富崎)

○小城市南部学校運営支援室

- ①効果的・効率的な学校集金管理を進める。
- ②臨時・嘱託職員や各種ボランティア等にかかる人材情報集中管理に取り組む。
- ③ホームページを開設する。
- ④諸手当調査、監査等に係る提出書類の作成や諸様式の統一など事務処理の効率化・適正化を進める。
- ⑤教育委員会、校長会、教頭会との連携を強化し学校事務の効率化を進める。

今年度より加配を得て学校運営支援室運営となった。加配効果はと問われると、役割分担により運営面でこれまでできなかつたことがスムーズにできるようになったことだ。上記の今年度の目標と取り組みでは、ホームページの開設、学校集金取扱要綱、文書分類、通勤手当実態調査(地図打ち)を行った。しかし、人材バンク情報や、関係団体との連携は新たな対策が必要だ。支援室には中心校の校長も常時参加を得ているため、助言等を得ることができ幅広い研修ができている。(室長 嘉村)

※月3回程度行っている支援室会議の具体的な活動報告については各運営支援室のホーム

ページで随時公開していますのでご覧ください。

北部 <http://www.saga-ed.jp/workshop/ogihokubu/index.html>

南部 <http://www.saga-ed.jp/workshop/oginanbu/index.html>

※各運営支援室における取り組みの進捗状況については毎月開催される市事務研の中で教育委員会の担当者も交えて情報交換を行っています。

時候の挨拶・・・・・



時候の挨拶には、「漢語調」と「口語調」の二種類があります。前者は「新春の候」「盛夏の候」といったもので、丁重な印象を与え、儀礼的な手紙やビジネス文書でよく使われています。また、後者は「春眠暁を覚えずとか申しますが」「朝夕めっきり寒くなりました」といったやさしい響きがあり、季節を感じ的にとらえやわらかみを備えているので、プライベートな（私的な）手紙に使います。

情報化社会並びにスピード化社会が到来し、今やコミュニケーションのツールは多種多様に広がっています。携帯電話やEメールで瞬時に通信でき、手軽に伝達を済ませることができる時代となりました。しかし、手紙にはぬくもりや心のゆとりを感じさせてくれる魅力があります。改めて少しでも手紙に親しみ、楽しさを再発見してみてください。

☆時候の挨拶用語・用例集☆

- 新年 =謹賀新年・恭賀新年・賀正・迎春・頌春
- 一月 =新春の候・厳寒の候・厳冬の候・寒冷・寒風・寒月・寒気ことのほかきびしく・寒さひとしお身にしむ折から・新雪輝き、スキーの好季節となりましたが
- 二月 =春寒の候・余寒の候・立春の候・残雪・早春・梅一輪一輪ほどのあたたかさとか申しますが・立春とは申せ、なおきびしい寒さが続きますが
- 三月 =早春の候・春暖の候・春色・春雪・水ぬるむ・雪解け・春雨・寒さもゆるみ・ようやく春めいてまいりましたが・桜のつぼみが色づいてまいりました
- 四月 =陽春の候・仲春の候・春日・花ぐもり・春たけなわ・春宵一刻値千金・春眠暁を覚えずとか申しますが・桜花ほころびるころとなりました
- 五月 =新緑の候・若葉の候・薰風の候・初夏・惜春・青葉が目にしみる季節となりましたが・目に青葉山ほどとぎす初がつおの好季節をむかえました
- 六月 =向暑の候・梅雨の候・入梅・短夜・梅雨空・梅雨晴れ・麦秋・田植え・衣替え・毎日うつとうしい天気が続きますが
- 七月 =盛夏の候・酷暑の候・炎暑の候・猛暑の候・星祭り・土用・夕立・夏休み・連日

平成20年12月15日 月曜日 第58号

きびしい暑さが続きます・暑中お見舞い申し上げます

- 八月 = 残暑の候・晩夏の候・立秋の候・入道雲・ひぐらしの声・秋立つとは申せ、残暑
きびしい折から
- 九月 = 初秋の候・秋涼の候・秋色・野分・秋晴れ・仲秋の名月・天高く馬肥ゆるの候と
なりました・草むらの虫の声もしげくなりましたが
- 十月 = 秋冷の候・秋雨の候・清秋の候・秋晴れ・行楽の秋・実りの秋・味覚の秋・読書
の秋・紅葉・朝夕めつきり寒くなりました・燈火書に親しむころとなりました
- 十一月 = 晩秋の候・向寒も候・暮秋・初しぐれ・落葉・ゆく秋・霜枯れ・夜寒・ゆく秋の
淋しさが身にしみるこのごろ
- 十二月 = 師走の候・初冬の候・初雪の候・こがらし・霜夜・冬至・クリスマス・年の瀬・
除夜・歳末ご多忙の折から・年の瀬もおしまってまいりました

※この他にもいろいろな時候の挨拶があります。

おじゃまします

唐津市鎮西町には、馬渡島、加唐島、松島の離島があり、今回は加唐島について紹介します。
加唐島は佐賀県最北端の島で、面積約2.8平方キロメートル、呼子から定期船で約20分かかります。加唐島小中学校に赴任されて3年目の小嶋主査に離島での勤務や生活についてお伺いしました。

Q : 加唐島での生活はどうですか？

A : 用務員さんや調理員さんは島の方ですが、それ以外の職員は学校の近所にある教職員住宅で生活をしていて、週末に自宅に帰ったり食材の買い出しに出ています。島での生活は、定期船の時間が少なくて困ることもありますが、それ以外は個人的にはあまり不自由を感じません。

Q : 離島での勤務はどうですか？

A : 基本的な部分での仕事は変わりませんが、出張の際は定期船の時間の関係で前日から出発したり、翌日帰ったりすることもあります。

Q : 最後に加唐島のPRをお願いします。

A : 加唐島は、人々の人情が厚く、とても住みやすいところです。とくに今年度は光ファイバーの敷設や教職員住宅の建築が進行中で、島の不便さはほとんどなくなっています。さらに自然や魚釣りも満喫できるとあって言うことなしです。ぜひお出でください。



紅葉について



秋も深まると、「紅葉を見に行きたい。今年はどこに行こうかな。」と思います。桜の季節もいいですが、秋の紅葉も素晴らしいですよね。

そもそもどうして、紅葉するのでしょうか？

紅葉の色は、その植物の種類によって赤くなる葉と黄色になる葉があります。葉に含まれる色素には緑色（クロロフィル）と黄色（カロチノイド）があります。量はカロチノイドに比べて、クロロフィルの方が多いので、春夏は黄色はめだたずに葉は緑色にみえます。秋になり葉のはたらきが弱まり、クロロフィルが分解するにつれて、カロチノイドの色がめだって黄色になります。イチョウやポプラの葉が秋に黄色になるのは、そのためです。

一方植物は秋になって葉が老化し、その働きがおとろえると葉のつけねに離層を形成します。この離層によって葉でつくられる糖類の移動が妨げられて、糖分が葉に蓄積されます。もみじなどの葉が赤くなるのは、葉の組織の中で糖を利用して、アントシアニンという色素がつくられるからです。

紅葉が鮮やかに現れるには、昼夜の寒暖の差が大きいこと、適度の湿度、紫外線が強いことなど、様々な条件が整うことが必要です。

みなさんも紅葉狩りを愉しんでみてはいかがでしょうか。

～編集後記～

平成20年も年の瀬を迎えようとしています。今年は共同実施全県展開の年であり、会員の方々にとってめまぐるしい1年だったのではないでしょうか。

平成21年は全事研福岡大会が行われます。福岡班の方々本当に疲れ様です。来年度が皆様方にとってよりよい年でありますように祈念いたしております。

調査広報部一同

